

事業所名

マルク

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

14日

法人（事業所）理念	【いつでも どこでも 誰とでも】 ○誰一人として排除しない ○みんながひとりのために 一人はみんなのために ○療育とは化学であり技術であり生活文化生活文化である ○療育の主体は親である		
支援方針	ことばからだころをバランスよく伸ばし、いつでもどこでもだれとでも、生きていく力を育てます		
営業時間	火～金 14:30～17:30 土・学校休業日・長期休暇 9:30～16:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	日中活動の中でしっかり行い、身体を動かし、良い睡眠が取れるよう生活リズムの形成を促します	
	運動・感覚	リズム体操や歩行トレーニングなど、身体の感覚を向上させ、発達を促します	
	認知・行動	集団生活を基本とし、周りを見て動く・順番に並ぶ・待つなど適応力を育てます	
	言語 コミュニケーション	個々の学習を作成し、ことば・数・運筆等それぞれの学習段階に合わせたコミュニケーションの課題に取り組みます	
	人間関係 社会性	「療育の主体は親である」という考えのもとに、個別の家庭療育プログラムを作成し、具体的な指導・アドバイスを行いますマルクでできたことをご家庭に汎化させていくことで「いつでもどこでも誰とでも」行動が取れることを目指します	
家族支援	月に1回面談を行い、ご家庭の様子、困りごと、マルクでの様子など情報共有します 定期的に講座を開催し、関わり方等お伝えします	移行支援	必要に応じて進路や学校行事に対し、関係機関と情報共有や連携を図ります
地域支援・地域連携	関係機関で役割分担を行うと共にそれぞれの情報を共有し、具体的な場面での関わり方を提案します	職員の質の向上	内部研修、所内研修や、支援後のミーティングにより職員の障害への理解、支援の質の向上を目指します
主な行事等	センター行事である集団音楽療法やハイキング（山登り） お花見や季節ごとのレクリエーションを実施しています		